

## 第1回 桐生市学校規模等適正化清流中学校区検討委員会 議事録

○日時 令和6年2月9日(金) 午前10時～午前11時40分

○場所 桐生市立清流中学校 2階 会議室

### ○出席者

【桐生市学校規模等適正化清流中学校区検討委員会】14名

委員長	朝倉 富美夫
副委員長	野田 玲治
委員	毒島 嘉寛
委員	岡田 亜紀
委員	杉原 真一
委員	亀山 貴史
委員	林 進
委員	二渡 武雄
委員	岩野 和正
委員	大澤 尊光
委員	竹市 富夫
委員	田川 昇一
委員	前原 通宏
委員	堀江 雅彦

【桐生市教育委員会】9名

教育長	小林 一弘
《事務局》	
教育部参事	飯泉 尚士
教育部学校教育課長	渡邊 真宏
教育部教育支援室長	鈴木 智行
教育部教育未来室長	原橋 貴史
教育部教育未来室教育未来係	高畑 央
教育部教育未来室教育未来係	和田 泰孝
教育部教育未来室教育未来係	寺島 達也
教育部教育未来室教育未来係	大澤 豊

【傍聴者】 1名

【報道機関】 1社

## ○議事の概要

### 1 開 会 [開始：午前 10 時 00 分]

### 2 委嘱状の交付

- ・小林教育長から委員へ委嘱状を交付

### 3 教育長挨拶

- ・桐生市教育委員会 教育長 小林 一弘

本日は、お忙しい中、第 1 回桐生市学校規模等適正化清流中学校区検討委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、日頃から教育行政の推進をはじめ、市政の各般にわたりご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。また、この度は、本検討委員会の委員を快くお引き受けいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、全国的に少子化が進む中、桐生市においても児童生徒が減少し、小中学校の小規模化が進行しており、教育環境や学校運営への影響が懸念されております。

桐生市教育委員会では、子供たちを取り巻く状況が大きく変化する中、児童生徒にとって、より良い教育環境の構築と質の高い学校教育を実現するため、令和 3 年 7 月に桐生市立小中学校適正規模・適正配置審議会に諮問し、約一年間にわたりご協議いただいた後、令和 4 年 8 月に桐生市立小中学校適正規模及び適正配置に関する基本方針の策定についての答申をいただきました。その後、令和 5 年 3 月に、いただきました答申に基づき、教育委員会としての基本方針を策定いたしました。そしてその後、令和 5 年 7 月から 9 月までの間において、保護者の皆さん及び地域の皆さんを対象として、説明会を実施いたしました。

今後は、このたび設置しました本検討委員会において、小中学校の現状や課題等について、認識を十分共有しつつ、関係者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、清流中学校区における学校規模の適正化に向けた協議を進めさせていただきます。

平成 21 年度に清流中学校が開校した時の全校生徒数は 541 人でしたが、14 年経過した今年度は 278 人と開校時の約二分の一になっています。さらに、下の年代に目を向けますと、今年度の学区内、各小学校の普通学級 1 年生の人数は、東小 30 人、北小 19 人、菱小 22 人、3 校合計で 71 人ですが、6 年後の令和 11 年度の小学校 1 年生つまり令和 5 年 3 月末現在の各区の 0 歳児は、合計で 41 人です。

現在、教育委員会といたしまして、未来を担う子供たちには、複雑で多様な社会をたくましく生き抜くことができるような大人に育ててほしいという思いから、『桐生の未来を担い、世界に羽ばたく人づくり』を掲げています。自ら学び、課題を見つけ、解決していく力を身に付け、未来を切り開こうとする子どもたち、気概にあふれた人づくりをしたいと考えています。義務教育段階の学校は、計算問題や漢字書き取りの正解率を上げることだけが目的ではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、社会的自立のための基本的資質を養うことを目的としています。そして、そうした教育を十全に行うためには、一定規模の児童生徒集団が確保されていることが必要です。

皆様におかれましては、子どもたちにとって、良好な教育環境や充実した学校教育を実現するということが第一に考えながら、それぞれのお立場から、子どもたちのために、様々なご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

#### 4 自己紹介

- ・委員及び事務局自己紹介

#### 5 委員長及び副委員長の選出

- ・委員の互選により、委員長に朝倉富美夫委員、副委員長に野田玲治委員を選出

#### 6 議 題

- ・議事に入る前に、事務局から、過半数以上の委員の出席により、会議が成立することを報告。
- ・議事進行は、桐生市学校規模等適正化中学校区検討委員会及び地域協議会設置要綱第 8 条の規定により、委員長が議長を務める。

##### (1) 学校適正配置の方向性の決定に向けた今後の進め方について

- ・資料 3～資料 6 に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	ただいま事務局の説明がありました。ご質問、ご意見がございましたら挙手をお願いいたします。資料を全部集約するのは、大変難しいことだと思いますので、こういうふうになっていけばいいかなとか、そういう要望でも結構でございます。私も審議会の 14 人の委員の一人として、令和 3 年度から令和 4 年度にかけて 6 回の会議をして、教育委員会に答申することに携わりました。その後、基本方針の説明会を行い、各中学校区で検討委員会が始まっております。もう約 3 年近くこの検討させていただきますが、いろいろな意見が出ます。その意見を教育委員会の皆様方に橋渡しをするということなので、意見がありましたらお願いします。
委員	基本的には、統合はやむを得ないかなというふうに考えております。児童さん生徒さんが、より良い環境で学ぶことができるようなそういったことを整えてあげることが重要だと思います。1 つ問題になってくるのが通学かなと思います。通学についてアンケートを見ますと、30 分以内というのがアンケートの回答にあり、それ以上は難しいんじゃないかと感じました。また、人数がある程度おり、競争の中でいろいろと生徒さんたちが学ぶことや、いろんな方々の意見を聞いたりとか、ディスカッションすることも今の教育ではすごく重要になっておりますので、人が集まらないことには、そういったこともできないですし、これからは統合していくのも、私は致し方ないかなという考えでおります。
議長(委員長)	ありがとうございます。他にございますか。
委員	私は説明会を欠席しまして、今回初めて小中学校の現状をお聞きしたのですが、子供たちの成長を考えますと、学校統合は必要だと思ってきております。ただ、子供たちが安全に通える学校、それを私ども周りがなるべくよく導いて作ってやるのがいいかなと思っており、通学手段が 1 番大事じゃない

発言者	発言内容
	かなと思います。あとは、学校が統合しても、子供たちですから、皆さん仲良く、いろいろなスポーツや勉学を育む所になると考えております。
議長(委員長)	ありがとうございます。学校の統合を考える場合、一番重要なのは、先ほどのようなご意見のように、子供のことを中心に物事を考えることだと思います。我々の地域のエゴとかそういうことではなくて、子供のことを考えて、どういうふうな形で方向性を生み出していくのかが、重要な一つのポイントだと思います。他にございますか。
委員	母校がなくなるっていうのは非常に寂しいんですね、本当のこと言いますと。ただ、子供たちの将来を考えた場合に、統合はやむを得ないかなと思っております。ただ、そういった場合に、他の地域と統合し、その後、またいずれ少なくなっていくと、また違う地域とこういうディスカッションをしなければならない時代がまた来るような気がしているんですけども。将来を見据えた場合に、1つの学校区、仮に学校区が統合されて、また違う地域との統合もあり得るかなと思います。その地域で、一旦決めて統合した場合でも、その先の話になっちゃうんですけども、いずれどこかとまた統合しなければならないかなって、統合の繰り返しが続くのかなっていうことを杞憂しています。
議長(委員長)	ありがとうございます。他にございますか。
委員	この間、NHKのテレビで、今、30万人の不登校児童がいるっていうことで、こここのところ10年ぐらい前から、個を尊重するっていう形に、学校教育が変わってきているわけですね。ですから、統合はもちろんやらなければならないんですけども、フリースクールみたいなのが韓国とかフランスの例で紹介されていたのですが、そういう学校もこれからは市に1つとか必要じゃないかなと感じていたところに、統合の話が出たので、ちょうどいい機会だなと思っていました。行政とすれば、学校規模の適正化をどのようにするかっていうのは、これはやむをえない時代になってきているから、それは否定するものではないんですけども、30日以上出席しないと不登校になるという基準があるらしいのですが、全ての子供が、学校が嫌で行かないんじゃないかと、最近は画一的な教育は嫌だっていう子供が増えて学校に行かないと、親も行かなくてもいいよっていう風潮になってきているので、その辺の整合性を考えていってもらいたいなと、適正な規模の学校を作るのに1つその辺の枠も欲しいという感じはしました。
議長(委員長)	大変有意義なご意見、ありがとうございます。統合はやむをえないけれど、選択肢ですよ。そういう部分でいろいろな方法を考えてもらいたいということだと思います。ありがとうございます。他にございますか。
委員	初回の会議ということで一つ今後どう進めていくのかなっていうのが気になったところでありまして、地域協議会編成の要請を行うという方向性を仮に決めるといったことになった場合に、いつ頃までするのか、この1年間で協議をしていくという中では、年間でどういった優先順位で議論をしていく

発言者	発言内容
	<p>のこなっていうところが必要なのかなというところを感じました。これまでも皆さんが意見でおっしゃっていたように、どうしても子供を最優先に考えていかなければならないというところで、今後また再編の話になるという可能性も必ず出てくるのかなと思います。そうした中で、子供たちからみると義務教育って9年間になるわけで、仮に1年生の時にまたこういった統廃合があって、9年間ある中で、また違う動きになったというところでは、実際桐生市としては、例えば、いつからいつまでの間は、この枠組みでしっかりと、今回決める学校規模、適正配置で決めた学校で運営してくんだよって、もう少しこの検討委員会を含め市全体で示して、しっかりとしたもの、もう1回とりあえず決めて、もう1回じゃあ子供が減ってきたから考え直そうということではなくて、しっかりと将来像を見据えてどういった学校を作っていくかっていう協議会にできればなというところで、今日はお願いに留めます。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございます。事務局から何かありますか。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>今後どう進めるかにつきましては、また5年か10年したら同じようなことをすることになると、子供だけじゃなくて保護者の皆さんも大変な負担だと思います。今回、児童生徒の推移を令和29年度まで推計を出させていただきました。教育委員会は小学校であれば1学年2学級以上、中学校では3学級以上が望ましい学校規模として考えております。これが令和29年度までの間、続けて維持できることが望ましいと考えております。そういったことを想定しながら、協議等をお願いさせていただいて、またやるのかといったことを避けたいということ念頭にこれからの協議をお願いさせていただきたいと考えております。そのため、まず令和7年3月31日を目安に、地域協議会編成等を決定させていただきたいと考えております。また、中学校区ごとに地理的な条件であったり、地域の実状が違います。皆様のご意見を聞きながら、検討が円滑に進むようにしたいと考えております。また、通学環境と不登校のお話がありました。この検討の先には、考えなくてはならない問題だと思いますので、そういったことも配慮しながら検討が進められていくように取り組んでまいりたいと思います。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございます。2040年には人口が8万を切るという桐生市の統計が出ています。それに伴い、子供の少子化も必ず生じてきますので、委員のご意見のとおり、何年先を見込んで、目標ですよね、その辺りについても今後検討していただきたいと思います。他にございますか。</p>
委員	<p>気になっているのは、子供の通学で、地域によってはスクールバスを運行しなくちゃならないところが出てくるのかなと思います。通学距離が伸びる児童は、たくさん出てくると思うので、低学年の子供が歩いて帰るのは、無理ってような状況が生まれてくるんじゃないかなと思いますので、スクールバスを停車する場所をどうするのかとかですね。30分ぐらいは目安になるかと思うんですけど、30分、個々で30分かからない場所でも、希望すればスクールバスに乗れるのかとか、これ結構大きな問題になってくると思う</p>

発言者	発言内容
	<p>ので、そのスクールバスどうするかっていうのは早い内から考えておかないとちやいけな問題なのかなと思いました。あと1つ思ったのは、統廃合すれば当然、廃校になる学校が出てくるわけですけど、今、部活動の地域への移行というのも1つ懸案事項なっていると思うんですけど、例えばA校が廃校になったら、そのA校の体育館なり校庭その地域、部活動の拠点として使うなんてことも可能なんかなと思いました。この辺も並行して考えていかなくちゃならないのかなと、いろいろ合わせて考えていかなくちゃならない問題があるのかなと思いました。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございます。事務局、この件について何かありますか。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>学校規模の適正化を図っていく際には、通学環境の安全の確保と通学手段の問題があります。また、部活動の地域移行につきましては、現在、教育委員会の中で協議を進めているところです。さらに、学校の跡地利用につきましては、まちづくりの観点から総合的に検討する必要があるものと考えております。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございます。東京では、鞆を背負った小学生が、バスや電車、地下鉄に乗って通学しているのを見かけます。桐生市には、交通ビジョン対策委員会があり、私も委員になっておりますが、子供たちが自由にバスに乗って降りられるような安全なシステム、そういう環境を目指しています。他にございますか。</p>
委員	<p>去年の地区の説明会にも参加させていただいたのですが、そういう書類に対して、アンテナを高くしている保護者の方は個人でも参加されているのですが、例えば、本部役員もやってない一般の保護者ですとこういった検討委員会をやっていること自体も知らないという方がいると思います。その通学路、通学手段の話については、私も不安があるのですが、検討委員会をやっているということが早めに周知されると、例えば、そういうスクールバスに今後なるかもしれないということで、保護者の中では、例えば出勤時間をずらしたりですとか、私みたいにパートですと出勤場所を変えたりとか、そういった融通をきかせたりとかも、早めに対策ができるのかなと思うんですけど、一般の保護者への周知っていうのは時期的にはどれぐらいになるのでしょうか。</p>
議長(委員長)	<p>事務局、お願いします。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>検討状況につきましては、情報の共有、そして認識共有が重要になりますので、ホームページ等で周知してまいりたいと考えております。また、他の地域の検討状況につきましても、情報の共有を図ってまいりたいと考えております。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
委員	<p>1回目なので感想みたいな形にはなってしまうのですが、最初、参加する前は、どのような内容を話すのかなということで、不安で来たのですがけれども、今日いらっしゃるメンバーの皆さんの経験とか素晴らしいものを持ちだ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>と思うので、いろいろアドバイスをいただきながら、また保護者の代表として、意見を発しながら、子供たちの明るい未来へ繋がるようにいろいろ議論していきたいなということで、今後非常に楽しみです。是非よろしく願いいたします。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
委員	<p>清流中学校は、桐生の中でも歴史と伝統がある地域で、その地域からもしかすると学校がなくなることになれば、抵抗感のある方も出てくるかなとは思いますが、ただ先ほど来、話にあったとおり、子供を主語にして、子供たちにとって、どうかということを考えますと、少人数での学びと、ある程度の集団での学びでは、かなりの差が出てくると私は捉えております。人間関係が固定化されるっていう部分で、自分を変えるというチャンスがなくなってしまって、もう自分はこういう位置だっているのがずっと後々まで続いてしまって、高校になってデビューする子もいるんですけども、なかなかそういった面では自分を伸ばすチャンスが少なくなってしまうたり、子供たち同士の関わりが少なくなってしまうと、先生との関わりが強くなるんですけど、先生から得る学びよりも、そういった学びも大事なんですけども、友達同士で学んでいく中での学びというのが非常にこの時期は大事であるということもあって、豊かな人間性ですとか、粘り強く取り組むとか、あるいは自分を伸ばそうとするとか、そういった部分はある程度の規模の集団の中でないと伸ばせないと思っていますので、そういう方法が大事なのかなと感じますし、現状の清流中は、二分の一になってしましまして、授業には影響が今のところはないんですけども、部活動の地域移行という話もありますが、部活動では、大分人数が減ってしまって、チームが組めないという部活動も存在して、これからまた削らなければならないような状況も出てくるということも考えますと、子供の学びの機会を確保するという点からも、ある程度の規模は確保することが、今後、まず大事なのかなと考えております。ご心配される点もたくさんあるのかなと思いますが、通学とか、あるいはどのくらいの期間、学校を維持できるかといったことも検討しながら進めていくといいかなと感じております。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
委員	<p>菱小学校は、本当に地域と結びついた特色ある教育を進めていく中でやってきたのですが、それ以上に子供たちにとって、質の高い教育を考えると話に出ているように、多様な考え方に触れて、切磋琢磨していくっていう環境はどうしても必要ですし、固定的な人間関係でそのまま6年か9年間行ってしまうっていうことは、人間的な成長にとってもマイナス面が大きいと思います。あと同時に、一定規模の先生方の集団が重要で、菱小学校は、通級も入れると人数も多いのですけれども、10何人っていうぐらいの職員集団で、なかなかベテランから若手までバランスのよい男女比とかを考えてもなかなか難しいところもありますし、先生方が子供に向き合う時間を確保するためにも一定規模の教職員集団は必要であると考えています。委員の皆様のご意</p>

発言者	発言内容
	<p>見を聞いていると、子供たちのことを第一に考えていただいておりますので、学校を預かる立場とすると、大変ありがたいと思っております。またもう 1 点が、これからの教育をしていく上で教育施設とか設備の充実っていうのが質の高い教育を進めていく上で大事であると思っております。その辺についても、どうしていくのかっていうことも踏まえて議論していくと、さらにありがたいと考えております。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
委員	<p>北小学校は、全部の学年が既に単学級になっておりまして、138 人の子供たちを、全ての教職員でしっかり指導し、見守り、支援していこうというモットーで取り組んでいるところです。小規模校としての良さを全面に出しながら取り組んでいるのですが、それ以上に子供たちがクラス替えのないまま 6 年間進級していく、その中で人間関係の狭さ、そしてその保護者の人間関係、保護者同士のつながりもリセットができない状況の中で、なかなか課題も多いのが単学級の現状です。また、学校を預かる立場として、教職員の勤務についても、例えば、本校には「担外」の教員が 2 人います。音楽の専科と理科の専科です。音楽専科は、自分の専門教科の音楽を 1 年生から 6 年生まで全部持っています。それ以外に 5、6 年生の家庭科、3、4 年生の図工、特別支援学級の 3 時間、理科の教員についても、理科 3 年生から 6 年生まで、外国語の 3 年生から 5 年生まで、そして特別支援学級 3 時間ということで、専門でない教科等に関わっていかねばならないような現状でございます。そういったものは、子供たちの人数が増えれば、それに伴い配置される教職員も増えてくるということで、より専門的な教員が校内にいて子供たちへの教育の質もはるかに高くなっていくように思います。専門外の教科を一生懸命取り組んでくれてはいますけれども、より専門的な部分での指導ができれば理想的かなと思います。また、文部科学省でも 5 年生 6 年生の教科担当制を推進していくということですが、単学級の場合、隣のクラスの算数の授業に出て、うちのクラスの国語の授業を受けてもらおうといった授業交換のような専門性の高い教育というのが物理的にできないという状況になっております。学級数が増えれば、そういった子供たちへの学びや指導も、より質が高く深まるかなと考えておりますので、そういった視点も含めながら、学校の立場として考えております。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
委員	<p>私は、大学を卒業しまして最初の赴任地が東小学校で、36 年ぶりに今お世話になっているところで、私を育ててくれた学校が東小であると常々思っており、150 周年も迎えさせてもらったのですが、自分が来た時には 3 クラスから 4 クラス、子供たち 400 人ぐらいで、隣のクラスの先生がいたり、いろいろな子供たちといろいろな行事をしていました。当時は、ベテランの先生が、50 代 40 代それぞれの年代の先生がいて、目標になる先生に自分の基礎を作ってもらったことをすごく感じていて、今、若い先生も多いのですが、2 年生だけが今 2 クラスで、来年は 32 人ですから、制度上 35 人で一学級を</p>

発言者	発言内容
	<p>編成するので、来年は全部の学年が一学級になります。先ほどのご意見にもありましたが、職員集団が大切で、職員数が少ないため、教職員が学びあうことが、なかなかできないところですが頑張っております。また、本校は、それぞれの場面で地域に本当にお世話になっていて、それぞれの地域にお世話になりながら教育課程とかいろいろところを子供に還元しながら、本当に桐生の未来を担い世界に羽ばたく人材というそういうところ、大きなところでは、桐生が好きになる子供たちを育成していかなければならないと思いますので、校区が広がってもそういうところを大事に、そういう思いを大切にしてこれからの教育に当たっていきたいと考えております。本当に、切磋琢磨して、子供が伸びる環境作りが、この後できればいいなと考えています。</p>
議長(委員長)	大変ありがとうございます。他にございますか。
委員	<p>いくつか確認したいことがあって、基本方針はもう定まっていますけど、方針の中で何をやってくかという協議をするという理解をしているのですが、まず1個確認したいのは、この資料は原則公開されているものですか。要は、PTAの保護者にこれを情報共有してよいのか。私の基本的な考え方として、こういうことをやった時に利益と不利益が同時に発生するのですが、それぞれの利益と不利益を勘案した中でどの不利益を甘受してどの利益を得るのかという議論に持っていく必要があるであろうと。その時にどんな不利益をどんな人がどういうふうに持っているかっていう情報がここで共有されていて、その中でこれはしょうがないですよ、でもこれは必要じゃないですかっていう議論が必要なんではないかと思うんですが、僕はそれを保護者に対して、こういろいろどんなことを考えますかっていうようなことを問かけようとした時に、この資料を共有して、早いこと共有してどんな意見があるんでしょうかみたいなことをやりたいと思ったんですけども、これらの資料はもう公開されているものでしょうか。</p>
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育未来室長)	資料についてですが、例えば、基本方針や児童生徒数の推移というのは、説明会の時も使用しており、ホームページに掲載しております。
委員	ホームページのここ見ればありますよという情報を教えてもらえると、こちらから保護者にいろいろ出す時に伝えることができますと思います。
議長(委員長)	市のホームページに出ていると思います。
委員	市のホームページのここにあるというのを後で共有してもらえれば。では、そういうことを、基本的にはホームページに載っていればどんどん共有して、この中には全然そういうものしかないということでもいいですか、この中で非公開のものがありますか。
事務局 (教育未来室長)	特にございません。基本的に情報を公開して進めています。
委員	ありがとうございます。それからもう1点、この議論が進んでいった結果、統廃合が実現する時というのは、大体どのぐらいのタイミング、スパンがあ

発言者	発言内容
	<p>るでしょうか。もちろん協議が難航すれば伸びてくんだと思うんですけど、標準的にこの協議が始まって、この後、地域協議会が設置されて、その中で統廃合の準備が進んでいってとなった時に、大体何年ぐらい後に一般的には統廃合ってというのが実施されるイメージを持っているのか、それが無いと何年後にこれやるぐらいのイメージの話なんですよということを共有しないと多分、意見がうまくなくていうんだらう、時間軸がずれていると議論が噛み合わなくなるんです。</p>
議長(委員長)	<p>ちょっとよろしいですか。ここに書いてあるとおり、令和7年3月31日までに、一定の方向性を決定するというところでございます。事務局の方からお答えができないと思いますので、それから2年程度かかると思うんですよ。例えば、その中で選ばれた学校について、校舎の状況を確認し、増築するなど、いろいろなことを総合的に考えて、また、子供の交通システムのことなど諸々のことを考えると、それにプラス2年ぐらいは、私の個人的な意見ですけど、審議会ではそのような話も出ていました。</p>
委員	<p>システムのなものも含めて、そのぐらいの余裕を持ってというか、そういういろいろな意見はある程度反映されるイメージの中で進んでいくんですよというところが、ちょっと知りたかったので、だから、今回、これである程度方向性が出て、答申、我々が答申をして、それがまた上がって、2年ぐらいかけていろいろな仕組みも含めて、議論が進んで、その段階で新しいものが実現する。もちろんそれは大きな変動はあり得るでしょうけど、イメージ的にはそういうふうに、一応現時点では理解をしておきたいと思います。</p>
議長(委員長)	<p>事務局もそれは考えていると思いますので、また、今の意見を参考に1つ頭にいられていただければありがたいです。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>中学校区検討委員会の議論とその次の段階の地域協議会の議論は、一定期間、合わせればある程度かかるかなというふうに考えております。それとあとは、仮に統合となった場合には、施設の改修であるとか、通学環境、一定の準備期間がありますので、一定期間必要であると思います。過去の事例を見ますと、桐生市では、3年から6年近くかかっています。どのぐらいの枠組みになるのかといった設定条件によって変わってくるように思います。</p>
委員	<p>それはもちろんそうですよね。バチッと決められない。</p>
議長(委員長)	<p>一応そんな形ですが、この検討委員会は、子供を中心に考えてほしいと冒頭に申し上げたと思いますが、子供がどのように生活しながら、安全な学びができるかということが基本でございます。利益とか不利益とかではなく、これに対していろいろなことが付随してくるわけですから。学校の登校につきましても、例えば区長とのいろいろな意見交換などが出てきます。そういったことを言うときりが無いので、子供を中心に考え、統合を推進していくのが我々の役目だと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>一つ参考に聞きたいのですが、何回か説明会や検討委員会をやって、6回か7回やったと思うのですが、その中で、例えば小中一貫の話、そう</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>いう黒保根学園みたいな案も出ましたか。参考に聞きたいのですが。</p>
<p>事務局 (教育未来室長)</p>	<p>義務教育学校の設置につきましては、他の検討委員会で1件ご意見があり、教育委員会としては、黒保根学園については、基本的に通学条件、地理的な状況を踏まえて、令和4年度に義務教育学校として設置したという経緯がございます。教育委員会としましては、この検討委員会の協議でお願いしたいのは市内全域で一定の学校規模が必要であるといったことで、まず協議をしていただきたいということになります。</p>
<p>議長(委員長)</p>	<p>よろしいですか。他にご質問はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>PTAの方でもいろいろこの会議で話される内容について事前に意見等を取りまとめたかなと思っているんですけども、今後の検討委員会のスケジュール感、毎月とか2か月に1回とかどれくらいの期間で行われるかと、あとはどんな内容を今回議題として話すのかを事前にいただけるかどうかというのを確認したいんですが。</p>
<p>事務局 (教育未来室長)</p>	<p>本日は、委員長、副委員長の選任であり、またこれまで審議会と教育委員会が検討してきたことを、資料等で確認していただいて、現状と課題をご理解していただきました。今後は、それぞれの中学校区の中での協議になるわけですが、次回の日程については、これから委員長さん、副委員長さんと相談しながら決めたいと思います。現時点においては、年に3回から4回程度の開催を考えていますが、あくまでも現時点の予定であり、9つの検討委員会でのご意見を参考に調整を図りたいと考えております。</p>
<p>議長(委員長)</p>	<p>ありがとうございます。地域ごとに環境が違うので、その辺の違いというのは必ず出て来ると思います。そうしたことを教育委員会の方で調整していただければ、これから良い方法に向かっていくと思いますので、よろしく願いいたします。他にございますか。本日予定した議事につきましては以上でございます。これで議長の任を解かせていただきます。皆様ご協力をありがとうございました。</p>

## 7 その他

## 8 閉 会 [終了：午前11時40分]